

2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社TOKAIホールディングス
 コード番号 3167 URL <https://www.tokaiholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嶋田 勝彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 総務本部長 (氏名) 村松 邦美
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

上場取引所 東

TEL 054-275-0007

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	93,015	4.7	5,500	58.3	5,608	56.6	3,492	101.1
2019年3月期第2四半期	88,840	4.6	3,475	11.6	3,580	13.9	1,736	39.3

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 2,924百万円 (3.7%) 2019年3月期第2四半期 2,819百万円 (47.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	26.67	
2019年3月期第2四半期	13.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	165,616	64,982	38.4
2019年3月期	167,606	63,894	37.4

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 63,602百万円 2019年3月期 62,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		14.00		14.00	28.00
2020年3月期		14.00			
2020年3月期(予想)				14.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,800	4.8	14,170	8.5	14,040	5.9	8,230	5.9	62.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	139,679,977 株	2019年3月期	139,679,977 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	8,721,837 株	2019年3月期	8,731,411 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	130,951,794 株	2019年3月期2Q	130,945,409 株

(注)期末自己株式数については、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2020年3月期2Q 400,700株、2019年3月期 410,800株)を含めております。また、期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式については、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2020年3月期2Q 407,378株、2019年3月期2Q 414,634株)を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、個人消費は持ち直し、雇用情勢も着実に改善するなど、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦など海外経済の不確実性により、依然先行きは不透明な状況で推移いたしました。

そのような状況のなか、当連結会計年度は中期経営計画「Innovation Plan 2020 “JUMP”」4か年の3期目、折り返しの時期となります。事業の推進については、従来に引続き*1 T L C (Total Life Concierge[トータルライフコンシェルジュ]の略、以下同じ) 構想の実現と「*2 A B C I R + S (アブサーズ)」をテーマとして、既存事業の深耕やM&A、新規事業への参入などの収益基盤拡充戦略に取り組んでまいりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績については、顧客獲得の推進や受注案件の増加などの取り組みが奏功し、売上高は93,015百万円(前年同期比4.7%増)、各利益項目についても、営業利益は5,500百万円(同58.3%増)、経常利益は5,608百万円(同56.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,492百万円(同101.1%増)と大幅に増加いたしました。なお、売上高、各利益項目については、いずれも過去最高を更新いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における継続取引顧客件数は、前連結会計年度末から16千件増の2,918千件、T L C会員サービスの会員数は同47千件増の852千件となりました。

また当第2四半期連結会計期間におけるトピックスとしては、2019年7月に情報及び通信事業の開発体制強化等を目的として、ソフトウェア開発事業を営む株式会社アムズブレン(岡山県岡山市北区)の発行済株式の99.0%を、2019年8月に業務提携契約を締結し、都市ガス事業及びL Pガス事業を営む伊勢崎ガス株式会社(群馬県伊勢崎市)の発行済株式の20.7%を、2019年9月に建築及び不動産事業の業容拡大を目的として、総合建設事業を営む日産工業株式会社(岐阜県下呂市)の全株式をそれぞれ取得しました。

また、2019年8月には秋田県にかほ市が運営する都市ガス事業を引き継ぐべく、にかほガス株式会社を設立しました。

*1 T L C構想 当社グループが提供する様々なサービスにより、お客様の快適な生活を総合的、且つきめ細やかにサポートし、お客様の満足度の向上を目指すビジョンのこと。

*2 アブサーズ 当社グループの技術革新へ向けた戦略のこと。AI (A)、Big Data (B)、Cloud (C)、IoT (I)、Robotics (R)、Smart Phone (S)、それぞれの頭文字を繋げた造語。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(ガス及び石油)

L Pガス事業につきましては、同業者との競合が激しさを増すなか、既存エリアでの獲得強化・解約防止に加え新規エリアに進出を図る等、顧客増加に注力し、当第2四半期連結累計期間で需要家件数は11千件増加し、639千件となりました。それらにより、売上高は29,240百万円(前年同期比3.5%増)となりました。

都市ガス事業につきましては、需要家件数は前連結会計年度末並みの56千件となりましたが、原料費調整制度による販売単価の上昇及び設備機器の販売増加等により、売上高は6,526百万円(同14.8%増)となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は35,766百万円(同5.4%増)となり、営業利益は787百万円(前年同期は52百万円の営業損失)となりました。

(建築及び不動産)

建築及び不動産事業につきましては、設備機器販売やリフォーム事業の案件が増加したことにより、当セグメントの売上高は9,736百万円(同8.3%増)となり、営業利益は487百万円(同117.9%増)となりました。

(C A T V)

C A T V事業につきましては、通信事業者との競合が激しさを増すなか、放送・通信セット加入による割

引サービス、大手携帯キャリアとの連携によるスマホセット割引に加え、地域に根ざしたコミュニティチャンネル番組作りの強化等、競争力を高め顧客増加を図るとともに、解約防止に取り組んでまいりました。それにより、放送サービスの顧客件数は前連結会計年度末から5千件増加し794千件、通信サービスの顧客件数は前連結会計年度末から9千件増加し282千件となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は15,593百万円(同3.0%増)、営業利益は2,304百万円(同10.6%増)となりました。

(情報及び通信サービス)

コンシューマー向け事業につきましては、大手携帯キャリアとの競合が激化するなか、単体サービスに加えて光コラボとMVNOサービス「LIBMO」とのセット販売などプランの充実を図り、顧客獲得に取り組んでまいりました。LIBMOの顧客件数は前連結会計年度末から3千件増加し43千件となった一方、ISP顧客については20千件減少し727千件(内、光コラボ324千件、従来型ISP403千件)となりました。以上により、売上高は14,563百万円(同6.1%減)となりました。

法人向け事業につきましては、ストックビジネスの積み上げやシステムの受託開発案件の増加等により、売上高は11,347百万円(同17.6%増)となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は25,911百万円(同3.0%増)となり、営業利益は1,657百万円(同64.6%増)となりました。

(アクア)

アクア事業につきましては、当社ブランド「おいしい水の贈りもの うるのん」を中心に大型商業施設等で顧客獲得に積極的に取り組み、顧客件数は前連結会計年度末から3千件増加し159千件となりました。また、製造及び物流コストの低減化にも努めてまいりました。

これらにより、当セグメントの売上高は3,752百万円(同7.5%増)、営業利益は257百万円(同61.5%増)となりました。

(その他)

その他の事業のうち、介護事業につきましては、利用者数の増加により、売上高は574百万円(同8.0%増)となりました。造船事業につきましては、船舶修繕の工事量が増加したことにより、売上高は726百万円(同15.9%増)となりました。婚礼催事事業につきましては、婚礼挙式組数の減少により、売上高は574百万円(同8.1%減)となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は2,255百万円(同6.2%増)、営業利益は51百万円(前年同期は10百万円の営業損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は165,616百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,990百万円の減少となりました。これは主として、M&Aによる新規連結子会社化等により現金及び預金が1,146百万円増加した一方で、季節的要因等により受取手形及び売掛金が2,856百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は100,633百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,078百万円の減少となりました。これは主として、季節的要因等により支払手形及び買掛金が821百万円、法人税等の支払により未払法人税等が1,784百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は64,982百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,088百万円の増加となりました。これは主として、剰余金の配当により1,839百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益3,492百万円を計上したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は、前連結会計年度末から185百万円増加し4,204百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、10,706百万円の資金の増加(前年同期比+3,512百万円)となりました。これは法人税等の支払、仕入債務の減少等により資金が減少した一方で、税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少及び非資金項目である減価償却費等の要因により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、6,859百万円の資金の減少(前年同期比+104百万円)となりました。これは有形及び無形固定資産の取得等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,659百万円の資金の減少(前年同期比△3,718百万円)となりました。これはリース債務の返済及び配当金の支払等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予定通り進捗しており、2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月9日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,164	5,310
受取手形及び売掛金	24,798	21,941
商品及び製品	4,173	3,694
仕掛品	660	1,713
原材料及び貯蔵品	865	863
その他	8,264	7,418
貸倒引当金	△419	△451
流動資産合計	42,506	40,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,756	33,456
機械装置及び運搬具(純額)	23,592	23,417
土地	22,921	23,094
その他(純額)	16,760	17,248
有形固定資産合計	97,030	97,216
無形固定資産		
のれん	5,044	4,831
その他	6,084	5,771
無形固定資産合計	11,128	10,603
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	2,365	2,399
その他	14,958	15,382
貸倒引当金	△386	△478
投資その他の資産合計	16,937	17,302
固定資産合計	125,097	125,122
繰延資産	2	2
資産合計	167,606	165,616

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,021	14,200
短期借入金	22,265	21,954
1年内償還予定の社債	168	133
未払法人税等	3,491	1,707
引当金	1,705	1,759
その他	18,733	17,719
流動負債合計	61,385	57,472
固定負債		
社債	230	171
長期借入金	27,940	28,669
引当金	149	101
退職給付に係る負債	719	761
その他	13,286	13,456
固定負債合計	42,325	43,160
負債合計	103,711	100,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,000	14,000
資本剰余金	25,527	25,530
利益剰余金	21,863	23,516
自己株式	△2,222	△2,220
株主資本合計	59,167	60,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,573	1,337
繰延ヘッジ損益	△319	△671
為替換算調整勘定	△10	△15
退職給付に係る調整累計額	2,217	2,124
その他の包括利益累計額合計	3,460	2,776
非支配株主持分	1,267	1,380
純資産合計	63,894	64,982
負債純資産合計	167,606	165,616

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	88,840	93,015
売上原価	53,759	55,850
売上総利益	35,081	37,165
販売費及び一般管理費	31,605	31,664
営業利益	3,475	5,500
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	110	117
受取手数料	45	16
持分法による投資利益	—	64
その他	185	101
営業外収益合計	345	306
営業外費用		
支払利息	188	153
持分法による投資損失	7	—
その他	43	44
営業外費用合計	239	198
経常利益	3,580	5,608
特別利益		
固定資産売却益	0	13
伝送路設備補助金	66	49
補助金収入	5	—
投資有価証券売却益	0	108
特別利益合計	72	171
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	317	384
投資有価証券売却損	—	9
減損損失	14	—
その他	36	115
特別損失合計	367	508
税金等調整前四半期純利益	3,285	5,271
法人税、住民税及び事業税	1,333	1,786
法人税等調整額	146	△123
法人税等合計	1,480	1,662
四半期純利益	1,804	3,608
非支配株主に帰属する四半期純利益	67	116
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,736	3,492

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,804	3,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△236
繰延ヘッジ損益	1,106	△351
為替換算調整勘定	3	0
退職給付に係る調整額	△108	△92
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△5
その他の包括利益合計	1,015	△684
四半期包括利益	2,819	2,924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,750	2,808
非支配株主に係る四半期包括利益	69	115

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,285	5,271
減価償却費	6,832	7,080
のれん償却額	584	535
減損損失	14	—
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△132	△122
受取利息及び受取配当金	△114	△123
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△99
支払利息	188	153
固定資産売却損益(△は益)	△0	△13
固定資産除却損	317	384
売上債権の増減額(△は増加)	2,459	3,346
たな卸資産の増減額(△は増加)	△370	249
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,304	△1,312
その他	△1,883	△2,178
小計	8,876	13,172
法人税等の支払額	△1,683	△2,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,193	10,706
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	139	146
有価証券の取得による支出	△306	△6
有価証券の売却による収入	0	247
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,743	△5,750
有形及び無形固定資産の売却による収入	122	107
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△202	△1,408
貸付けによる支出	△200	—
貸付金の回収による収入	10	10
その他	215	△206
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,964	△6,859
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	△194	△162
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,450	△375
リース債務の返済による支出	△1,852	△1,858
長期借入れによる収入	4,800	5,400
長期借入金の返済による支出	△5,196	△4,722
社債の償還による支出	△104	△94
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	0	0
配当金の支払額	△1,835	△1,838
その他	△7	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	58	△3,659
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	289	185
現金及び現金同等物の期首残高	3,004	4,018
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,294	4,204

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス及び 石油	建築及び 不動産	C A T V	情報及び 通信サー ビス	アクア	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	33,948	8,987	15,135	25,154	3,490	86,716	2,123	88,840	—	88,840
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	96	554	370	1,503	90	2,615	81	2,697	△2,697	—
計	34,045	9,542	15,506	26,657	3,580	89,332	2,204	91,537	△2,697	88,840
セグメント利益 又は損失(△)	△52	223	2,084	1,006	159	3,422	△10	3,411	63	3,475

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、婚礼催事事業、船舶修繕事業、保険事業、介護事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス及び 石油	建築及び 不動産	C A T V	情報及び 通信サー ビス	アクア	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	35,766	9,736	15,593	25,911	3,752	90,760	2,255	93,015	—	93,015
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	87	494	344	1,746	98	2,771	85	2,857	△2,857	—
計	35,853	10,231	15,937	27,658	3,851	93,532	2,340	95,872	△2,857	93,015
セグメント利益 又は損失(△)	787	487	2,304	1,657	257	5,494	51	5,545	△45	5,500

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、婚礼催事事業、船舶修繕事業、保険事業、介護事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。